



## 大学図書館研究会東京地域グループニュースレター

<https://www.daitoken.com/tokyo/>  
第 258 号 2023 (令和 5) 年 5 月発行

### 目次

1. 2022/2023 年度東京地域グループ第 1 回例会のお知らせ -----1
2. 2022/2023 年度関東地域合同例会参加報告 -----2
3. 「運営委員」のススメ -----3
4. 会報「大学の図書館」5 月号を担当しました -----3
5. 全国大会のご案内 -----4
6. 2022/2023 年度第 6 回・第 7 回 (2 月~4 月) 東京地域グループ運営委員会記録 -----4

### 2022/2023 年度東京地域グループ第 1 回例会のお知らせ 「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について (審議のまとめ)」を読んでもらう会

2023 年 3 月に公開された「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について (審議のまとめ)」、みなさんはもう読まれたでしょうか? 今回、久しぶりとなる対面での例会企画として、この審議のまとめを読んでもらう会を開催いたします。書いてある内容や今後の大学図書館の対応の方向性について、一緒に読み、意見交換・検討を行いませんか。お気軽にご参加ください。

日 時 : 2023 年 6 月 11 日 (日) 10 : 30-11 : 30 (受付 10 : 10~)  
場 所 : 喫茶室ルノアール 新宿 3 丁目ビッグビル店  
アクセス : 都営地下鉄「新宿三丁目」駅より徒歩 3 分 C8 出口直結 BYGS(ビッグス)ビル B2F  
東京メトロ丸ノ内線・副都心線「新宿三丁目」駅より地下道で直結 徒歩 4 分  
JR「新宿」駅より地下道で直結 徒歩 10 分  
<https://www.ginza-renoir.co.jp/shopsearch/shops/view/103>

参加費 : 無料 (お 1 人 1 杯の飲み物の注文をお願いいたします)

参加方法 : どなたでもご参加頂けます。申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/wroCysgMeXgxEzUK9>

【申込〆切 : 2023 年 6 月 8 日 (木)】

問合せ先 : [tokyo@daitoken.com](mailto:tokyo@daitoken.com) (大学図書館研究会東京地域グループ)



参加される方は、意見交換をスムーズに進めるため、事前に審議まとめに目を通していただくことをお勧めします。また、当日も各自でご持参ください。

「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について (審議のまとめ)」

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gi\\_jyutu/gi\\_jyutu29/004/mext\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gi_jyutu/gi_jyutu29/004/mext_00001.html)



(参考) 文部科学省、「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について (審議まとめ)」を公開 (カレントアウェアネス-R) <https://current.ndl.go.jp/car/175605>

---

## 関東地域合同例会開催報告

---

○2022/2023 年度関東地域合同例会「オンライン座談会：管理職×若手 ～2050年の大学図書館はどうなってる?～」 参加報告

日時：2023年2月19日（日）13：30-15：00

場所：オンライン開催（Zoom）

国立大学図書館協会近畿地区の「君も大学図書館で働いてみないか」プロジェクトのアンケート項目を受けて企画されたというオンライン座談会に参加させていただいた。参加者は60名ほどで、大学図書館研究会非会員の方の申し込みも多かったとのこと。タイトルの通り、管理職側として2名、若手職員として3名が登壇された。

まずは、登壇者の方々が想像する2050年の大学図書館について発表があった。

管理職サイドとして、三角太郎氏（富山大学）の「2050年について予測することは難しい」という非常に率直な意見から自己紹介はスタートした。続いて、井上昌彦氏（関西学院大学）はまず「なぜ未来を考える必要があるか」という問いかけを提示された。また、どんな状況にも対応できる基礎的能力や社会人として汎用的な能力、図書館・学術情報流通に関する知識などは今後も求められるものとして挙げられた。

若手サイドとして、立原ゆり氏（東京大学）は内閣府のデータや人口予測を用いて2050年の大学や大学生はどうなっているか予測を共有いただいた。業務の部分では大半が自動化、効率化され、図書館専任の職員や人事的管理職は必要ない時代になるといった予測があった。橘風吉氏（東京大学）からは、人文社会系・国立大学としての視点から発表があった。AIを用いて情報を収集するようになるとの予測から、情報探索において情報源の確認やファクトチェックを行うようになるとの意見があった。また、電子資源の発展により、著作権法についての教育の需要が高まるという予測を共有いただいた。最後に、池田隆平氏（国立情報学研究所）からは図書館員ではなく事務職員として研究に携わる中での考えを共有いただいた。思考経路そのものを提供できるようなサービスや、音声データや映像データなど資料の多様化が進むという意見が寄せられた。ただし、「どのような人とコンテンツを繋いでいくか」については現在と変わらないのではないかという意見があった。

次に、登壇者同士の座談会が行われた。特に印象に残っているのは、三角氏の「できたらいいな、と思うような技術について考えていく」という意見だ。2050年の技術を想像することは難しいが、できたらいいなと思うようなものを実現していくことを考えるというお話だった。また、井上氏からはオンライン化が進む中で人と人を繋ぐサービスの需要が高まっているという意見があった。最後に参加者からの質疑応答があり、座談会は終了した。質疑応答では、今後の図書館界の競争や図書館員の数について質問があった。

座談会を通して、2050年の未来を想像するだけでなく、図書館が良い未来を迎えるために、そして未来を創る学生と教員のために、今図書館員である我々が出来ることは何なのか、考えるきっかけとなった。若手だから、予算がないから、教員の理解がといった理由で新しいことを始めようとしてこなかった自分を反省し、身の引き締まる思いであった。このような機会を企画してくださった関東地域グループのみなさまに感謝申し上げたい。

宮井杏佳（東京大学大学院人文社会系研究科・文学部図書室）

---

## 「運営委員」のススメ

---

東京地域グループで講演会や見学会の企画、ニュースレターや会報の編集、ツイッターやウェブサイトの運営をしてみませんか？東京地域グループは、地域グループ総会で承認された「運営委員」により運営されています。企画に参加するだけでなく、企画を立て実施することで、普段の仕事ではなかなかできないこともできてしまいます。アイデア出しの過程では、濃い情報交換・意見交換ができ、新しいトレンドをキャッチすることもできますよ。運営委員会はオンラインで毎月1回が基本。あとはウェブツールで進行管理をしています。興味のある方は以下のアドレスまでお気軽にご連絡ください！

【東京地域グループメールアドレス】E-mail: [tokyo@daitoken.com](mailto:tokyo@daitoken.com)

---

## 会報「大学の図書館」2023年5月号の編集を担当しました

---

東京地域グループは、会報「大学の図書館」2023年発行分のうち、5月号の編集を担当しました。今回の特集テーマは「大学図書館・図書館職員の研修 ～「学ぶ」と「育てる」の両面から捉える～」です。

学術情報流通のあり方がますます多様になるに伴い、大学図書館が扱う資料やサービスの種類もさらに広範囲に及んでいます。学術情報流通やそれを取り巻く資料・サービスの多様化に応じて、大学図書館で働く職員も多岐にわたる業務に対応するために資質、あるいは仕事の質を向上させる必要があります。

大学図書館では研修が充実していることはよく言われることですが、上記のような状況において、研修は正に資質や仕事の質を向上させるための手段の1つと言えます。本特集では、大学図書館職員の研修について、職員同士の自主的な取り組みや外部の研修参加事例、更には研修の理想のあり方についての論考をお寄せいただき、「学ぶ」と「育てる」の両面から捉えるべく構成し、5名の方に寄稿いただきました。

- ・ 図書系若手職員勉強会について
- ・ 体験記：情報システム統一研修を受講して
- ・ オンデマンド型遠隔講義でヘルスサイエンス分野の基礎を学ぶ
- ・ あらためて研修とは
- ・ 小さな音楽大学図書館より——こんな研修求めます！

ページ数も内容も、大変充実した特集となっています！また、2月に開催した関東地域合同例会の開催報告も掲載されます。登壇者からのコメントもありますので、今回のニュースレターに掲載の参加報告と合わせ、参加された方は当日の振り返りとして、参加されなかった方には雰囲気を感じていただければ幸いです。まもなく発行の予定で、発行後には会員向けメーリングリストで通知されますのでぜひご覧ください。どうぞお楽しみに。

## 2023年全国大会のご案内

第54回全国大会の開催日程・開催場所が決まりました！東京地域グループからも大会の運営に複数メンバーが参加しています。久々のリアル開催（一部オンライン対応あり）となりますが、東京からアクセスのしやすい大阪での開催となりますので、ぜひご参加ください。

開催日程：2023年9月23日（土）～25日（月）

開催場所：大阪大学豊中キャンパス

## 2022/2023 年度第6回・第7回（2月～4月）東京地域グループ運営委員会記録

下記のとおり、東京地域グループ運営委員会を開催いたしました。

### 第6回

日時：2022年2月21日（火）20:00-21:25

議事：

1. 2022/2023 年度合同例会振り返り
2. 会報編集担当について
3. 2022/2023 年度のイベントについて
4. その他

### 第7回

日時：2023年4月18日（火）20:10-21:00

議事次第：

1. 会報編集担当について
2. 次回のイベントについて
3. ニュースレターについて
4. 今年度・来年度の体制について

東京地域グループ運営委員会の議事内容の詳細は、  
東京地域グループウェブサイトにおいて公開しています。  
<https://www.daitoken.com/tokyo/operation.html#committee>



フォローしてくださると  
嬉しいです。



Twitter  
@dtk\_tokyo

『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』

第258号, 2023年5月

事務局：〒252-0001 神奈川県座間市相模が丘 1-29-10-401 下山朋幸 気付

東京地域グループメールアドレス：tokyo@daitoken.com

東京地域グループ運営委員会編集担当：山口友里子

※ニュースレター電子化切替ご希望の方は、上記アドレスまでご連絡ください。

Google フォームからも申請できます。→

